



積み上げた力で命を守ろう

～防災訓練から学ぶ SDGs～



地震発生

「命を守る(生命尊重)」

頭を守らないと!



次はどうしたらいいのかな?



「話を聞く(情報収集)」

シェイクアウト



「行動をする(安全確保)」

自分でかぶれるよ



安全な場所へ 避難しなきゃ!

11 住み続けられる まちづくりを



避難先:潮見小学校, 緑住宅, 芦屋市民センター等

もし、火事や地震が起こったらどうしたらいいのかな?

保育所の子ども達は毎月1回, 1年間で12回以上の防災訓練を就学するまで積み上げています。その経験がレジリエンス(危機対応能力), 防災意識の向上に繋がっています。また, 散歩や所外保育などで避難場所を知り, 挨拶を交わしながら, 災害時に地域や社会と助け合える関係づくりを目指しています。様々な経験から, 子どもが自ら『命を守る』行動が取れるよう, 実践的な保育を行っています。

防災意識を培い, 自ら行動できる子どもへ

芦屋市立緑保育所

